

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第5回加東市社地域小中一貫校開校準備委員会
開催日時	令和2年10月27日(火) 19時30分から21時20分まで
開催場所	加東市役所 2階 201会議室
<p>議長の氏名 (委員長 松井敏)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p><b>【出席委員】</b> 31人</p> <p>佐々木正利委員 樹梨林三委員 津田美紀委員 別惣裕美子委員 松井敏委員  石井英昭委員 塩寺一博委員 臼井純男委員 大畑祥二委員 臼井いづみ委員  下山宜昭委員 宮田道芳委員 西山宗孝委員 依兼計博委員 稲継健太郎委員  大西康之委員 堀場和之委員 小薮真輝委員 岸本吉博委員 長谷川貴典委員  大畑美幸委員 平川真也委員 井上奈美子委員 大江みさ子委員  永井弘江委員 登光広委員 上月幸代委員 橋本喜貴委員 木田丹子委員  辻田昇司委員 藤本紀行委員</p> <p><b>【欠席委員】</b> 4人</p> <p>田中肇委員 井本和樹委員 岡咲悟史委員 林智子委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p><b>【教育委員】</b></p> <p>田中寿一教育長職務代理者  藤原哲史教育委員</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>教育長 藤本謙造</p> <p>こども未来部長 広西英二 教育振興部長 田中孝明  こども未来部参事兼学校教育課長 後藤浩美  こども未来部小中一貫教育推進室 室長 柴崎俊之  同 副課長 丸山真矢  同 係長 郡 龍仁  同 主事 上山裕之</p> <p>※説明のため(株)大建設計から2名出席</p>	

議題、会議結果、会議の経過及び資料名

**【議題】**

- (1) 社地域小中一貫校基本設計について
- (2) 今後のスケジュールについて

**【会議結果】**

- (1) ・ (2) 資料に基づき、審議しました。

**【会議の経過】**

1 開会

教育長あいさつ

2 議事

(1) 社地域小中一貫校基本設計について

(委員長)

皆さん、こんばんは。

本日の会議の内容でございますが、主に基本設計についてがメインになるかと思えます。この件につきましては意見の集約ということで、先立って意見書の配付をさせていただきましたところ、非常にたくさんの御意見を頂戴しております。

先般の施設整備委員会で意見をまとめていただいて、それらの報告をここでさせていただきます。そして、新たにそれらのことにつきまして、また皆様方の意見を聴取させていただくという会になるかと思えますので、最後まで、限られた時間ではありますが、慎重に御協議をいただきたいなということをお願いいたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

それでは、議事の1、社地域小中一貫校基本設計について、施設整備委員会代表から説明をお願いします。

(委員)

皆さんから御意見をいただきました中には、図面を見て分からないところ、要望とかいろいろな意見が出ておりました。全体を施設整備委員会でまとめようとしたら大変だろうからということで、3班に分かれて協議したものを報告いたします。

①加東市がめざす小中一教育が推進できる学校。

プールの場所は提案の場所でもよいのではないかと。もう一つは、特別支援学級の配置について意見があったが、ソフト面とハード面のすり合わせをしっかりとやるべきであると。これから、ICT、いろいろ使うので、そういう使いやすい学級にしてほしいという意見です。

②だれもが楽しく通える安全・安心な学校。

バスロータリーの場所について、子どもたちの動線を考慮して再検討する必要がある。提案をもらったのが角っこだったので、駐車場や通学、また一般の方も通るということで、ちょっと考慮したほうがいいんじゃないかという意見ですね。もう一つ、小グラウンドが離れているので、近くにティーチャールームなど、教師が集まる場所が必要ではないか。管理面でどうだろうかという心配です。

内装は教師に任せたらどうか。教師またPTA、生徒たちが長年使っていた中でいろいろな意見があるから、それをまとめてもらったかどうかということです。

③快適でゆとりのある学校。

手洗いの場所を明確に分離するなど、衛生面に気をつけて場所を考えてほしいということです。

④地域を愛し、地域に愛される学校。

地域交流室を校舎内に配置してもよいのではないかと。施設開放の際は、シャッターで分離する必要がある。開放するときのセキュリティ問題ですね。そういうことを考えてほしいということです。

プールの市民開放の意見があったが、管理も難しいのでニーズを把握してほしい。

職員室の場所について検討する必要がある。それによって死角になる場所には、防犯カメラも設置してはいかかかということ。セキュリティが一番大切になるだろうと意見を聞きました。

⑤管理しやすく使いやすい学校。

小グラウンドのメンテナンスについて、水はけを考えた工事をしてほしい。池の跡なので、水はけのいいグラウンドにしてほしいということです。

8年生、9年生の教室配置は反対のほうがよいのではないかと。教室環境は、先生方が一番使いやすい動線、どう動いて管理したらいいかということを考えてほしいと思います。

⑥その他。

プールの照り返しは検証できるということだったので、しっかり検証してほしい。いろんな面で目隠しとか日よけですね。そういうことを考えてほしいということです。

バスロータリーの場所は、アフタースクールの場所と関連する。ロータリーの再検討ということです。

職員室の場所は、生徒と近い距離にしてほしい。先生方が困らないような施設。教室配置ですけども、これは教育委員会と教師の方々をお願いしたいと思います。

それ以外に、次の意見が出ました。

教室の動線や内装などについては、教職員に決めてもらえばいいのではないかと。

プールの日よけや目隠しは風に強いものにしてほしい。台風とか強風ですね、最近多いので、設計屋さんで気をつけてほしいと思います。

先生方にとってモチベーションが上がる施設になってほしい。

小グラウンドへの車の乗り入れは可能か。回答では、正門から小グラウンドまでは入れる計画はありますということで、ずっと平面図で追いながら説明していただきました。

児童が間違っただけで大プールに入らないような対策は、現状で決まっていらないが、物理的に手すりのようなものをつけたり、中央に休憩スペースを造って先生の目が届きやすいようにいろいろ考えていきますということです。

地域への開放はどのようなことが想定されているのか。グラウンドや「やしらのにわ」、交流のところですね、みんなのホールとかそういう交流場所のセキュリティを考えて、できるようにしてほしいということです。

それと、工程計画ではプール工事がプールを使用する時期に重なっていると思うので、そういう授業を考えているのかということ、学校の教育課程と調整しながら、今後検討していきますという回答でした。

以上でございます。

(委員長)

ありがとうございました。

皆様から多くの意見をいただいたわけですが、施設準備委員会でも集約をしていただきました。今後、設計を進めていくに当たり、私たちや学校の先生方の思いを

反映させていただくために、皆様方の意見をこの場で集約といいますか、再度意見要望等を協議していただくことになってございますが、たくさんの意見等が出てございまして、限られた時間でもありますので、今回におきましては大まかな施設の配置等に重点を置いて協議をいただいたらなと思っております。

学校の教育環境等につきましては、教職員の方々が一番よく分かっておられますし、十分に熟知されてると思っておりますので、細かな部分については教職員のプロジェクトチームに今後委ねていきたいと考えてございます。教職員のプロジェクトチームでまとめた御意見等については、この委員会で再度御報告をいただいて、そして我々委員会で共有をして進めていきたいと思っております。そのようにさせていただきますので結構でしょうか。

〔異議なし〕

(委員長)

意見ないようですので、今後そのようにさせていただきたいと思えます。

それでは、資料1についてでございますが、大建設計さんから委員に、この際特に聞きたいというようなことがございましたら、大建設計さんで意見集約等をお願いしたいと思います。

(大建設計)

設計を進めるに当たっては、まず配置、大きな施設がどこに来るかというのを決めていきます。その後、建物の中の部屋の配置だとか細かな部分を決めていきたいと考えておまして、委員会の中で、校舎の位置と体育館の位置というのは、おおむね了承いただいているという理解しております。そのほか重要な配置の項目としましては、3点ありまして、バスのロータリー、地域交流のスペース、あとはプールの配置、この3つの配置が重要だと考えております。この3点について御意見をいただければと考えております。バスロータリーに関しては、プロポーザルでは、利便性を重視ということで校舎棟に近づいておりましたけれども、委員会では安全性の意見がありましたので、その安全性を重視してどこに配置するべきかというのが議論の一つになるかと思えます。あとは地域交流スペースです。プロポーザルの案ですと、技術棟の少し離れた位置に配置してるんですけども、そこはもう別棟になることで、セキュリティーを重視した配置にしています。校舎棟と分けて管理しやすいという意見で別にしてはいますが、もっと交流に重視を置いたほうが良いという御意見があり、「やしろのにわ」に面した位置だとか、体育館の位置に面したほうが交流スペースにとって重要ではないかという意見もありましたので、そういった観点で御意見をいただければと思っております。もう一つは、プールの配置です。今は校舎の目の前にプールが配置している状態ですけども、その配置している観点としましては、現状がマンションの隣で丸見えの状態、音の問題もあるというところで、校舎棟の南に配置している点と、あとはカセ池、池の埋め立てた上になるべく建物を建てないほうが安心ということで配置をしています。別の観点で、こうしたほうが良いんじゃないかという意見をお伺いできればと考えています。

まず、バスのロータリーについて御意見をお願いできればと考えております。

(委員)

今の位置は滑りやすいので、危険じゃないかと感じました。ソフトボールのグラウンドのほうが水平になっている。アイスバーン状態のとき、朝凍るから、危ないなと思えます。

(委員)

子どもらがバスから降りた後に、そのロータリーの中に入れないようなレイアウトになってるんでしょうかね。といいますのは、小学生、その小さい子どもらがバスに乗って来ますので、バスから降りたつもりが、どこかその辺うろうろしてお

てバスにひかれるという事案を心配してるんです。ですから、駅のホームじゃないですけども、降りたらもう外側に出ていけるような感じにしないと、管理が大変じゃないかなという気がするんですよね。学校というのは安全第一が非常に重要だと思ってるんですけども、そういう事故があったら、本人はもちろん、親御さんも大変になりますんで、そういう配慮はされてるんでしょうか。具体的なロータリーの構造なんかが図面化されてないようなんで、私分らないんですけども、設計としてどうなんでしょう。

(大建設計)

一般的なバス停と同じで、今ここのバスがずらっと並んであるんですけど、その横を降りたところは特に仕切りはないです。

その辺りは今後検討させていただきます。

(委員)

具体的に図面化されましたら、レイアウト的な図面、動線の図面をまた御提示していただけますかね。よろしくお願いします。

(事務局)

補足ですけども、前回の開校準備委員会の際に、自転車を止めた子どもたちが細いところを歩いてきて、バスを降りた子どもたち、それから自転車が入ってきたり、こういった動線がすごく混雑して危ないんじゃないかというような意見をいただいたと思います。子どもたちの安全・安心のことを考えたときに、ロータリーの場所をどこにしたほうがいいのかということの意見を是非いただきたいです。

現状としましては、ソフトボール場横のスペースに置くことが可能なんじゃないかなという意見が出ております。先ほど委員から見せていただきました資料なんですけれども、社地域小中一貫校の基本計画、一番最初の計画のときに、たしかこの場所にロータリーがある図というのもございました。ただし、いろんなメリット、デメリットがあるかと思えます。校舎横の場所にありますが、子どもたちが校舎に近い場所に降りる格好になります。ソフトボール場横の場所になったときに、校舎からは離れるけれども、子どもたちの安全・安心というのは確保できます。設計を進めるに当たってその辺の御意見を、是非いただきたいです。

(委員)

南側にロータリーをという話をおっしゃってましたけども、南にロータリーを造って子どもが乗り降りした場合、施設の中を歩いてと言うたって、ちょうど道路に面しておる分の内側というのはスタンドやし、その次は芝生がずっと植わってます。1段上がってとか、野球場のほうから回っていくとか、そういうふうになるし、じゃあ雨降ったときとか、ぬたぬたの真砂土の上をじゃあ歩くんかということになるし、だからといって、1回施設の外に出て歩道を歩くというのが、中にバスのロータリーを造る意味がないんじゃないかと。ロータリーは今の図面として出ているそのロータリーは乗り降りだけにして、バスの駐車場というのをそのソフトボール場の南側、今、もとの相撲場のあった、今何も利用されてない、あそこに駐車場だけ設けたら。それやったら、ロータリーだけになって、バスが止まる駐車場の分がなくなるから、通路が広がるんじゃないかなと私は思います。

(事務局)

ありがとうございます。

乗り降りの場所とバスの駐車する場所を分けてはどうかという御意見をいただいています。もし南にロータリーをした場合、実際植栽帯がずっとあるわけですけども、そういったことの改良というか、可能性として何か案はありますでしょうか。

(大建設計)

例えばロータリー、駐車、全て南に含めたとすると、今おっしゃったとおり、上

をいく案がベターかなと考えています。今植栽がありますけど、植栽を多少小さくしていくと、子どもが1人、2人並んで歩けるぐらいのスペースはあると考えております。おっしゃるとおり、雨にぬれていくというのはどうかというのが一つのデメリットになってきょうかと考えています。

ただ一方で、歩道沿いを行くと、自転車が歩道で行って、車と自転車と歩行者が完全に分離できるというところで、安全性に関してはここにまとめて配置するのが一番よいかなど。どうしてもロータリーが北に来ると、車と自転車の動線が重なる部分が増えてしまうと思います。先ほどいただいた、ロータリーと駐車場を分ける案で行きますと、車が通って行って、南で交差するのはどうか。利便性は高まって重ね合わせがないのかなと思いますけど、その辺りの近づくメリットを重視するのか、あとは安全性を大事にして、ここにまとめて配置するのがよいのかというのも、決めどころかなと考えます。

(委員)

今、正門を残す方向で、計画が立てられていると思うんですが、思い切ってその正門周りを変えてしまうという案は駄目なんでしょうか。その正門の位置を、既存の正門を残すのではなく、新たに位置を変えることで自転車の入るところ、バスを止めるところなどが計画しやすくはならないんでしょうか。正門を絶対に残すという計画であれば、それしかないのかもしれないんですが、もうそこをいつそのこと大きく変えてしまうというのは駄目なんでしょうか。

(大建設計)

可能性はないことはないと思っています。というのは、今の観点としては、なるべく既存のものを残していこうという観点で、空いてる場所を狙ったということですので、おっしゃるとおり、ここを広げていくというのは可能かだと思います。その中で、コストのお話もありますので、そこを含めて検討はできるかなと思います。スペースをどこまで広げるかということも議論になってきます。スペース的には変わらないので、あとはこのグラウンド自体をこの野球場と重ねるぐらいまで広げるかとか。今はあくまでも既存のグラウンドと野球場のスペースを確保しようという形で検討を進めております。

(委員)

今、正門のところは少し広げられるんじゃないかという話が出たんですけども、バスの入り口とそれから自転車の入り口が、今予定されてるところを逆にすれば、自転車の動線とバスから降りた児童のところが接触がなくなるんじゃないかなと思うんですが、青のところから自転車が入る通路を造って、正門からバスが入って、その辺りでロータリーを造るなり、スペースが今すごく狭いんですけども、そういう方法もあるかなと思いました。

(委員)

今の意見は、自転車のコースとロータリーがもし手前だったら、交差しちゃうから危ないですね。私、植栽の幅がどれぐらいあるか分からないんですけども、植栽のところを通路にして、歩行者がそこを通るようにして、グラウンド側は、もし高低差があるんだったら手すりをつけて、急なスロープを上がるんだったら、もっと緩く、グリーンベルトのところですね、緩く、歩きやすいように改装していけば、歩行者、子どもでも十分いけるんじゃないかなと。自転車等の場合、一般の方も駐車場を使うし、いいんじゃないかなと思いますね。だから、最終の計画案、グラウンドのほうは何となく動線が重ならないから、いいんじゃないかなと思いますけど。当然、バスが出入りするところは警備員が立つだろうと思いますので。

(事務局)

今日の会議の時点で確定というわけではありませぬので、今いろんな意見をお出

しいただいたらと思います。子どもたちの安全・安心という観点で御意見をいただいているかと思っています。

委員さんから、ご要望がありましたので、基本計画の中にあつた配置図をお配りします。資料の中では、バスロータリーが一番下の南側の付近に配置をされる計画とされておりました。資料を御覧いただきながら、ちょっと御意見をいただきたいと思っています。

(委員)

図を見ていただければ一目瞭然だと思うんですけど、子どもが降りた後の動線というの、縦列の止め方であれば、バスの間をぬって子どもがぱっと出ていくとかということも、多分起こりにくいと思いますし、バス自体も一方通行で移動ができると思うので、この止め方ができるスペース、西門のところにも取れそうだなと思って提案させていただきました。

(委員)

今、図には載ってないと思うんですけど、技術棟の北側にも駐輪場があると思うんです。多分、今使用されてないんじゃないかと思うんですね。そっちを使えば、本体の駐輪場を幾らか小さくすることができるんじゃないかなと思うんです。となれば、そのマイクロバスを止めるスペースが少し広く使えるかなと思います。あと動線については、やっぱり人の流れが一方通行のほうが混雑しないと思うので、今の社中学の下駄箱の辺りをそのまま通路として通れるように残しておいて、中庭のほうに一度生徒の方が入って行って、新しい下駄箱にという流れをつくるのも一つの案じゃないかなと思います。

(事務局)

自転車置場の話がありましたけれども、現在は使ってないということです。

今、御意見いただいたように、現在使っている場所をちょっと削減したらほかのところで使えるんじゃないかとか、施設の全体の配置にもまた関わってくると思います。

(委員)

ロータリーが狭いという話が今議論されていると思うんですけども、実際学校が始まって、マイクロバスでピックアップされてそこに集まると思うんですけど、ピーク時ってどのぐらいのバスがそこに集約するんでしょうか。

(事務局)

現在の計画では全体のバスの台数としましては12台ぐらいを予定しております。学校が始まる時間というのがある程度決まっていますので、ピーク時には10台前後ぐらいは一気にここに入ってくるような状況になるかと考えております。大分混雑するとは思いますが、そのぐらいの子どもたちが一気に来ることを考えての動線を計画していきたいと思っています。

(委員)

この正門近くのバスロータリーの止め方だったら、多分頭を一回振って、バックで入るか、頭から突っ込んでもいいんですけど、なので、子どもが降りてるときは、バスがそれこそ駐車をしなくて待っていると、そういう決まりをつけないと、結局子どもたちは降りてのに、バスが入ってきたりとかすると、絶対危険やと思うんで、この止め方をするんやったら、危ないんじゃないかなと思うんですね。結局、自転車の子たちや歩いていく子たちがそこを通るとなったら余計に危ないと思うので、前の絵の止め方やったら、そこから降りて、そのままバスの近くを通らずに歩いて学校のほうに行けるんじゃないかなという案だったんですね。もしも正門のスペースを広げられて、危なくないように乗り降りができるならいいと思うんですけど。

(委員)

北側駐車場が100台になってますけど、常時ここは使われるのは教職員の方が使われると思うんですけども、例えばここをバスのロータリーにさせていただいて、そこから渡るところ、ガードマンがもしつくんでしたら、一時的に朝だけとかつけていただければ、スペース的にあるんじゃないかと、この絵だけでは思うんですけども、どうでしょうか。

(委員)

北門から自転車が入れたらいいんでしょうけど、現在は道が狭いから、正門からしか入ったら駄目ということになった。そういうことがあって、道が狭くて、あそこでマイクロがどうこうというのはやめとこうかと。

(事務局)

なかなか図面上では分からない部分もあるかと思いますが、たくさんそうやってヒントをいただきましたら、設計に活かせる部分というのがどんどん出てくると思います。

(大建設計)

皆さんの御意見を伺ってますと、ロータリーを基本計画案のように、ぐるっと回れる案だと、ここでスペースが取れば校舎に近いほうがいいんじゃないかという御意見かなと感じました。一方で、動線が交錯するリスクをどう考えるかというのもあるかと思っています。ピーク時十何台が重なるというシーンが出てきますので、そこをどう考えるかというのが、この検討課題と感じました。

(事務局)

どの案にしてもメリットと、あと心配な面がございます。どれか取捨選択していく中で、1番は子どもたちの安全・安心ということで、考えております。ロータリーの件に関してはたくさん御意見いただきました。ありがとうございます。

(大建設計)

次にプールです。皆さん御意見の中では、このベストポジションに置くのは駄目だろうという、厳しい御意見もいただいておりますけども、当初の考えとしては、まずは校舎から近いこと、もう一つは配置のパターンとしてはこの隣地、隣はマンションが今建ってますけど、プライバシーの問題とか、ちょっと音の問題とか視線の問題とか気になる場所がありましたので、なるべく離してあげたほうがいいのではないかとこの考え。あともう一点が、カセ池をなるべく外して建てたほうが安心じゃないかという観点で、この位置にしております。その観点も含めまして、ここがいいんじゃないかという御意見をいただければと考えております。

(委員)

アパートの関係で、それは理解できるんですけど、現状の位置、この図面にあるプールの位置と比べたら、騒音というのはどれぐらい減少するんでしょうね。といいますのは、距離的なもので騒音の減少を図るべきなのか、例えば防音壁みたいなやつを建てて、そういうことで騒音の低下を図るものもいいものなのか、ちょっとその辺が分からないんですけども。距離によっての騒音の減少具合というのはいかがなものなんでしょう。

(大建設計)

距離によって音がどれぐらい減少するかというのは、もう計算値で出ますので、そこは例えばここで何デシベル出ましたというのと、何メートル離れると何デシベルになりますよというのは、計算でできます。ただ、その音を遮る対策としてここに遮音壁を設けたりだとか、この窓のサッシの性能を上げたりとか。あと対策というのはいろいろありますので、それは場所が決まってから検証というのはできるか

など考えております。

(委員)

今のお話では、計算で出てるということですけども、その減り具合、低下具合は例えば何%ぐらい減りますよとか、計算で出てるんであったらそれを伺いたいということです。今、データはないわけなんですか。

(大建設計)

計算はまだです。

(委員)

減るんであったらそれは別に構わないんですけども、それだけで事足りるのかなというようなことがちょっと気になる部分なんで、伺ったんですけども。次回から出していただけますかね。これぐらいの騒音になるから、別にアパートの方に御迷惑をおかけすることはないですよというようなことがあったら、それは安心ですけどね。

(事務局)

近隣の方への影響ということでも御意見いただきました。また場所を考える上で、子どもたちが使う上でどの場所が一番いいのかなという、移動距離ですとか、その辺も含めて総合的に考えていかないといけないと思います。

(大建設計)

なるべく既存のグラウンドを残すという方針で、校舎の位置はここに固まってますので、このエリアの中でプールが一番どこがいいかなという観点で、ここに配置をしているという状態です。

(事務局)

こちらに関しましては、先生方のプロジェクトチームも立ち上げますので、そちらでも御意見をいただきたいなと思いますが、よろしいでしょうか。

[異議なし]

(事務局)

ありがとうございます。

(大建設計)

あともう一つが、地域交流スペースです。プロポーザルの提案では、技術棟のところに1つ地域交流のスペースを設けております。

これまでの委員会の中で御意見があったのは、体育館も休日に地域開放されるようですので、そことつけたらどうかというのと、もう一つの御意見としては「やしろのにわ」ですね、この中庭と体育館、それと地域交流、この辺りに配置して一体的に地域開放するエリアを造ったらどうかという、交流重視の案とセキュリティー管理重視の案というのが大きく2つに分かれているような案でした。御意見をいただければと考えております。

(委員)

施設整備委員会でも質問をさせてもらったんですが、「やしろのにわ」を開放する場合、どこからそこへ入る想定をされているのかが、ちょっと図面から見えてこないです。そこを開放するのであれば、地域交流室も当然そっちに近づける必要が出てくるだろうし、開放するのが、体育館だけだということであれば、体育館の近くや今の場所で行くのかという感じになるかと思うんです。もし、「やしろのにわ」を開放するんであれば、動線はどのような計画になっているのか教えていただきたいです。

(大建設計)

動線については、これから検討できると思うんですけど、今のイメージとしましては、昇降口を兼用して入っていくのがスムーズかなと考えております。例えば、

この庭を開放するのであれば、今、学年交流室をしつらえてるんですけども、そこに地域交流の部屋を併設して、そこから体育館も開放してつながるといった交流の仕方はできるかなと考えています。

(委員)

昇降口を開放するという事は、子どもたちの靴箱のところを開放するという形ですよね。それってちょっと怖いなという感じがあるんですが、その辺りは何かセキュリティー上はないんでしょうか。ちょっとそのまま開放するのは怖いなという気がします。

(大建設計)

恐らく、セキュリティーの仕切り方の度合いも調整できると思いますけど、例えば昇降口に隣接して玄関を設けて、来客はそこを通るだとか、そういうやり方ではできると思います。要は、セキュリティーに不安があるというお話もあろうかと思えますけど、どこまで開放するかという議論もあろうかと思えます。あと地域交流室の具体的なイメージというのもあると思うんですけど、今考えられる想定でいきますと、地域の教室関係、例えば生け花だとか琴だとか将棋をここでだったり、学校側の生徒の展示だとか、発表の場としても交流スペースが使えるかなと考えております。

(委員)

体育館はどこから入るんですか。

(大建設計)

三角の矢印があったんですが、ここが玄関です。あと入り口は、体育館ですのでたくさんあります。

(委員)

体育館の入り口が、今三角のところとかをメインに、入るところはたくさんあるという話ですけども、今で言ったら、社小学校の体育館と社中学校の体育館を時間外に使われてる人が、両方一気に使用するという事だから、セキュリティー云々って言い出したら、庭を開放するというのは、駐車場の加減もあるからちょっと無理があるんじゃないかと思えます。

(事務局)

今日お配りしている資料、それから前回お配りしている資料の中のA3判の、皆さんからいただいた意見の中に、コンセプトで、「地域を愛し、地域に愛される学校」ということで意見をいただきました。ここにやはり地域交流というキーワードがたくさん出てきております。例えば、④の一番上の御意見ですと、5小学校1中学校の歴史や特色を残して、地域の方が気軽に来校できる「地域交流室」にすると。いろんな地域交流室の考え方によって、いろいろ可能性が広がってくるんじゃないかなと思います。今から設計に入っていく学校ですので、いろんな夢、可能性が語れる校舎になるかと思えますので、この地域交流ということ、どんなことができるかによっても、配置の場所も変わってくると思えますし、今いただいたような意見をヒントにしていけば、それを設計に反映していただければいいのかなと思います。地域交流という面も含めて、何かこんなことができるのかなということでも結構ですし、今いただいたような御心配のことも結構ですので、何かほか御意見ございませんでしょうか。

例えばこんなことがあったら、学校にもちょっと行きやすくなったりするかなとか、現在も地域の方に、ボランティアとかで大変御協力いただいておりますので、いろんな可能性が考えられるかなと思います。

(大建設計)

地域と学校との関係、どういう関係がいいか。具体的な形ではなくて、イメージ

でいただければと思っています。どういう形で学校と地域が関わっていったほうが理想としてどうかというのを、もしあればお願いできればなと考えています。

(委員)

地域で、私たちがふれあい広場で、交流ということで、いろんな文化施設を回ったりしてるんですけども、各地域にそれぞれ、文化資料館って滝野にあるんですが、各地のいろんなものを展示したり、祭りやったら祭りの使ういろんな踊りや、こういう踊りの展示される場所、そういうのもあれば、各地のいろんな文化を知ることができるんじゃないかと。三草茶を作るんやったら三草茶の、お茶を作るそういう流れとか、そういうのをしていただければ、この社地域、いろんなもの、子どもの頃から、また地域の方からいろんな資料を持ってきて学べるようなところがあればいいなと思います。

(大建設計)

ありがとうございます。

(事務局)

いきなり何かないですかということで、なかなかでてこないかなとも思いますので、開校準備委員会もこれで終わりではございませんし、先生方の教職員プロジェクトチームもございますので、また御意見を聞きながら、設計の素案ですとか案を作っていくしたいと思います。

この後、開校準備委員会の皆さんからいただいている意見で、この場でお答えできるような部分については、事務局と大建設計からお答えをさせていただくような、時間を取りたいと思います。

(事務局)

資料3にまとめさせてもらって、皆様に今提示しております。教育委員会と大建設計で今お答えできる分、返答をさせてもらえればと思っております。

(大建設計)

「①加東市がめざす小中一貫教育が推進できる学校」から、順番に説明させていただきます。

「増築校舎から最も近いベストポジションにプールを配置するのは理解できない」という御意見ですが、テニスコートだったり小グラウンド辺りの優先順位を吟味しながら検討していきたいと考えております。

次、2階のメディアライブラリですね、「活用目的が明確でない」という御意見ですが、想定としましては、自習だとか読書カウンター、作品展示、情報系の機能をそこに集約してコミュニケーションを図ろうというスペースになっております。

(事務局)

4つ目のところでございます。「ステージごとの交流や集会が同時に行えるスペースを確保する」と御意見をいただいております。提案書にも反映させてもらっておりますが、多目的スペースをそれぞれの場所に設けていきます。また、昇降口にはみんなのホールという計画をされておられます。ここが大きな空間を有しており、ここを有効に活用できればと思っております。

次に、「学年の枠を超えた交流ができる雰囲気のある学校」ということで、これを目指して設計を進めたいと思っております。

次に、「児童・生徒の発達段階に応じた教育が十分に実施できる施設」ということで、十分考慮して進めていきたいと思っております。

「教室内にタブレット端末の保管庫を安全かつ有効利用できるように設置する」ということで、タブレットの活用が進んでいます。教室でのタブレットの活用も前提に設計をしていきます。

次に、「ICT機器をどの教室にも導入していただきたい」。一人に1台のタブレッ

トを授業に活用できるように対応していきたいと思っております。

「児童の安全に配慮した施設づくり」。安全を一番大事に設計をしていきたいと思っております。

「生徒会、クラブ活動、部活動、制服はどうなりますか」というご質問です。例えば、制服に関しましても教員も含めて協議を進めますし、生徒会、クラブ活動もそうでございます。開校準備委員会に御報告をさせていただければと思っております。

「新しいお酒は新しい革袋にと。革袋ができればそれに入る新しい酒を準備する。それを目指さなければならぬ」。了解しております。

「②だれもが楽しく通える安全・安心な学校」ということで、バス関係、バスロータリー関係、あと動線の関係というのは、先ほどの協議させてもらっている部分ということです。

下から7番目です。「今回の新型コロナの対策で、発熱者は原則として別室での管理となっていた。保健室内を分割できるような設備が必要である」ということで、これも検討項目です。教職員のプロジェクトチームと協議をさせていただきまして、内容を充実させればと思っております。

(大建設計)

「やしろのにわ」側の安全対策というところで、窓の具体的な安全対策ということかと思いますが、割れない窓にすること、また割れても飛散をしないように窓枠にはひさしなどを設けるといった対策などを検討していきたいと考えております。

「増築校舎棟階段がないようですが、既存校舎からの移動ですか」ということで、階段のほうは配置しております。小さくて少し見づらいかもしれないんですけど、位置については増築棟にも配置をしていくように検討していきます。

(事務局)

「③快適でゆとりのある学校」です。

「トイレの数が少なく、移動に時間がかかります。多目的教室や普通教室、特別支援教室の配置に配慮が必要です」ということで、教室の配置、トイレもそうですが、今のたたき台をベースに教職員とも協議をしながらいろいろと工夫をしていこうと思っております。

(大建設計)

「やしろのにわ」北側教室の風通し、特に2階以下は確保されるのか。また、1から6年生と7から9年生のときの時刻の差、45分授業、50分授業、休み等もあり、声の反響による影響はどの程度抑えられるのかということです。おっしゃるとおり、風通しは重要だと考えております。自然換気、自然採光を重視して設計を進めたいと考えております。あと、音の反響、「やしろのにわ」の中庭で囲われてしまうと反響が起きてきますので、音の抜けだとか、その辺りも考慮しながら進めたいと考えております。

「近年、夏が非常に暑くなっており、学校の教室は30度を超えることもあります。温度だけではなく、湿度の管理など、子どもたちが快適に学校生活を送ることができる設備を整えていただければと思います」という御意見に対して、こちらは今後の検討課題とさせていただきます。

「自然素材の断熱材を使用して、夏涼しく、冬温かい教室にしてください」ということで、快適な教室環境をつくっていきたくて考えております。

「手洗い・うがいのできる設備が多く必要です。マナーも教育の一環だと思います。まさか便所と併設ではないでしょうね」ということですが、手洗い・うがいについては適切に配置をしていきたいと考えております。

(事務局)

「動線に無駄がなく、児童・生徒がゆとりを持って教育活動ができる施設」ということで、今回の社地域の小中一貫校、7ヘクタール弱あります。相当な大きさの学校ですので、動線に無駄がないように、できる限り対応するというのが設計の方針の一つであります。

(大建設計)

「図書室は、本があまり好きじゃない子でもついのぞいてみたくなる、行きたくなってしまうような居心地のいい雰囲気にしてもらいたいです。靴を脱いで上がれるスペース、座り心地のいいソファなど、通常の書架のほかに、ほかの本の表紙を見せながら収納できるタイプの棚があると、自分の知らなかった新しい本と出会いそうです」という御意見です。図書室についても、現在のところ案のほうでは、みんなの行きやすい場所、一番中心にあるような場所に図書室を配置しております。居心地のいいスペースにしていきたいと考えております。

(事務局)

「図書室等の施設を利用しましての知力を伸ばす。また、その下の、大グラウンド、小グラウンドを大いに活用しまして、まず体力の養成」ということで、運動関係の施設も充実しております。また、図書室も充実させようと思っております。

「④地域を愛し、地域に愛される学校」。地域交流室について協議をいただいております。今後教員とも協議を進めてまいります。

(大建設計)

「避難所機能の充実」です。ソーラー、水、宿泊対応、こちらのほうも対応していきたいと思えます。社地域全体の地域計画の方針にのっとりながら、学校としてよい避難所となるように計画を進めていきたいと考えております。

(事務局)

「地域に愛される学校づくりのための具現策は」ということで、今、地域とより深い関係の学校になっていこうという文科省の考えもあります。ハードでは、地域開放の方策等をどうしていくか、ソフトでは、コミュニティ・スクールという考えもあります。そういうものを含めて、検討していければと思っております。

(大建設計)

「⑤管理しやすく、使いやすい学校」。「1階の光庭の必要性、先進校でも安全管理面でデッドスペースになっているケースもある」という御意見です。光庭については、現状光と風を取り入れるためのスペースというように考えております。こちらでも安全管理でデッドスペースにならないように計画を進めていきたいと考えております。

(事務局)

「死角が増える分、防犯カメラの設置等で配慮する必要がある。また、施錠等施設管理の負担を減らすシステムも必要である」というような御意見でございます。広い学校になります。どうしても死角等も出てまいります。より充実させたような状況でカメラを活用して、死角の少ないような形にしたいと思っております。

「教室の配置について、8年生、9年生は逆では駄目なのではないか」ということですが、教室の配置関係に関しましては、運用されてます教職員とも協議をしたいと思っております。

「大小それぞれのグラウンドに、使用、収納、管理しやすい倉庫を設置する」。これも、教職員とも協議をさせてもらいたいですと思っております。

同じくその下の、「保護者としては駐車場のことや参観日などで学校を訪れる際に、教室の配置図などを設置したり、保護者がたくさん来ても十分なスペースを確保できるようにしなければならぬと思えます」ということで、学校の運用ができ

る限り利便性が図れるような設計ということ念頭に、打合せをしていきたいと思っております。

(大建設計)

「美しさを維持するため、教室や廊下の床の材質の検討を十分行う。修繕しやすい施設。修繕ありきで施行するのではなく、経年劣化・廊下・腐食・加水分解する材料を使用するのではなく、グレードの高い資材を使用して100年ぐらい寿命を維持してください。例えば、水回り全てをPVCや鉄管を使わずにサンタリー配管で行う」という御意見をいただいています。こちら、長もちして修繕しやすい、費用対効果を考慮しながら検討を進めていきたいと考えております。

「小グラウンドにもメンテナンス管理の車両出入口通路を設けてほしい」と、「東門から出入りするなら、菜園は不必要です。増築校舎が池跡地にかからず、地盤が安定し、良い」という御意見をいただいています。こちらのほうも、メンテナンスの車両動線を確保しながら計画を進めていきたいと考えております。

小グラウンドの水はけ、沼地跡の注意を促すということで、もちろん検討していきます。

「防犯対応の充実」です。「カメラ、フェンス、有刺鉄線などの配置」も検討を進めていきます。

「救急対応」についても、救急車の乗り入れ等の動線ですね、あと保健室の動線、こちら、検討を今後進めていきたいと考えております。

(事務局)

「校中の清掃に関して」という部分でございます。どのような学校運営をしていくかということになりますので、教職員との協議の中でどういう方法が良策かというように協議をしていきたいと思っております。

(大建設計)

「⑥その他」としまして、「1階教職員ラウンジ、休憩室のイメージ、でも部屋ではないように見える、職員休憩室は必要」という御意見です。教職員ラウンジのイメージとしては、部屋で囲わず、スペースのイメージです。教職員の方がリラックスできるスペースと、生徒の方が気軽に相談できるスペースというものをイメージしております。そのほか、職員休憩室の配置については、今後検討させていただきます。

(事務局)

「社アフタースクールに帰る子は、バスに乗る必要があるのか」というふうな意見でございます。アフターまでの送迎が学校の範囲だと考えております。

(大建設計)

「建築中はもちろん、在学中の子どもたちがいます。勉強・体育・部活動が少しでもよりよくできるようなスケジュールで建築してほしいです」。工事中に関しても、安全第一の計画になるように設計を進めてまいりたいと考えております。

(事務局)

あと、次の「工程計画につきまして、令和4年4月から6月に既存プール棟の解体、令和5年2月から7月にプール棟の新設の予定となっております。この間の水泳の授業はできるか」です。確かに、提案されております工程のステップにしましては、プールの使用制限が生じております。工程上に関しても課題でもあるんですけども、教育課程の中で、検討が必要な部分と認識しております。

(大建設計)

「耐久性に優れ、利便性がよいのと、あと健康に配慮した建材の選定、塗料、接着剤など」という御意見に対しては、長もちして作業しやすいもの、また人の体に優しいもの、自然素材の採用も考慮しながら検討を進めていきたいと思っております。

す。

(事務局)

「7、8、9年生、特に9年生の実績が大事かと思います。入ってよかったと実感できる学園になってほしいと思います」。もう皆様、通っていただきます生徒も含め、いい学校であると思っただけのような学校を設計していきたいと思っております。

「保護者としては、子どもたちが毎日通う学校なので、ぜひ快適な環境で学習できるようにしていただければと思います。実際に子どもたちを指導してくださる先生方の意見を特に大切にいただき、よりよい学校にいただければと思います」。この学校がいい学校であると思っただけのように、ハードもそうですけども、ソフトも充実をさせてと考えております。

以上です。

○松井敏委員長

ありがとうございました。

非常にたくさんの要望、意見等をいただいておりますので、省略した説明になりましたけれども、皆さんの意見については、これで質疑等を終了させていただきたいと思っております。

1点確認なんですけど、今後も設計もしていただく中で、本日議題となっておりますバスロータリーの件、それと地域交流、プールの配置等ですが、大建さんから本日お示しいただきました、基本的にはこの場所ということで、今後設計を進めていただくということでしょうか、当然のことながら、バスロータリーにつきましても、校舎棟の動線の確保であったり、地域交流については交流を注視して考えるのか、あるいはセキュリティーを重視して考えるのかという意見もございましたし、プールの配置については、委員から、特にその遮音の関係の今後データを示していただきたいという御意見等も出ました。場所、配置は今後進めていく上で、やはり配置が決まらないと、設計もなかなか進みにくいんじゃないかというふうに思います。本当に皆さん方からたくさんの御意見を頂戴いたしましたけど、一つ一つ吸い上げて設定していただくのが順当かと思いますが、当然限られた予算の中で、そしていろんな制約のある中での設計というふうになってきますので、今後大建設計さんにおかれましては、我々の意見を十分に酌み取っていただいた中で、次回の委員会に挑んでいただきたいと思っております。

(委員)

今日の委員会についても、意見が色々出ました。でも、決定は出ていません。が、委員長は最後に、この配置でということは今言いかけられたと思うんですね。つまり、今日特に問題になったロータリーの場所、案のまま、あるいは正門をずらす、あるいは西側にずらす。最終的には結論は出ていないと思います。じゃあ、これを次回決定をしていくんでしょうか。どういうふうな運びになるのか、見えにくいんです。意見を出し合うだけの会を重ねても、どこかで結論を出さないといけないんじゃないかなと。そのことを見通しを持ちたいと思うんですが、事務局、御回答はありませんでしょうか。

(委員長)

事務局、お願いいたします。

(事務局)

バスロータリー、あとプール関係に関しましては、やはり大きな課題として持っております。今日の段階におきまして、今後は建物の中の協議にも入りたいと思っております。増築部分の配置、これは皆様御異論がないようでしたら、その次、校舎の中の教室等の配置に入っていきます。バスロータリーやプールに関しましては、

皆様に検討した結果をお示しできればなと思っております。増築部分レイアウトに関しまして了解をいただけましたら、その次の協議を進めていく段取りを考えております。

(委員長)

それでは、本日のこの内容については、後日、協議をしていただいて、次回の委員会で発表していただくということによろしいですね。

(事務局)

教職員と協議させてもらいまして、この配置にさせてもらいましたというのを御報告させてもらおう形を行いたいと思っております。

## (2) 今後のスケジュールについて

(委員長)

それでは2番目の今後のスケジュールについて、事務局、お願いいたします。

(事務局)

今、協議してもらってますのが、提案書から基本設計に進んでいく内容ということになっておりまして、それが今年度の作業となっております。教職員のプロジェクトチームを、1回目としまして11月半ばに開催する予定です。教職員からも御意見等をいろいろいただいております。内容を踏まえましての協議をしたいなと思っております。同じく、教職員のプロジェクトチーム、2回目も12月ぐらいで開催したいと思っております。いただいた内容に関しまして、大体1月から2月頃に、先ほどの配置も含めましての基本設計案をこの開校準備委員会にお示しできればというふうに思っております。

以上です。

(委員長)

今後のスケジュール案について質問ございませんか。

[異議なし]

## 3 閉 会

### 【資料名】

資料1 第4回施設整備委員会報告

資料2 社地域小中一貫校設計方針（基本コンセプト）

資料3 意見書まとめ

令和2年11月30日